

久留米大学を受診した患者さんへ

「膵頭十二指腸切除術における慢性肝障害の影響に関する研究」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：2015（平成 27）年 8 月から 2016（平成 28）年 3 月
- 2) 受診科：肝胆膵外科
- 3) 対象疾患名：膵腫瘍（膵癌・膵嚢胞性腫瘍）、胆管癌、慢性膵炎など
- 4) 使用する情報：診療情報等

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：肝胆膵外科
研究代表者：教授 奥田康司
研究分担者：助教 川原隆一
助教 新井相一郎
助教 室屋大輔
- 2) 研究の意義と目的：肝硬変などの慢性肝障害が、膵頭十二指腸切除術に対して与える影響を、多施設共同研究で明らかにすることを目的としています。
- 3) 研究の方法：久留米大学病院を含めた日本肝胆膵外科学会高度技能修練施設から募った研究施設において、2004 年 1 月から 2013 年 12 月の間に膵頭十二指腸切除術を受けた患者さんの情報を匿名化し、病歴や検査データなどを集計して統計処理を行います。
- 4) 研究期間：平成 27 年 8 月倫理委員会承認後～平成 28 年 3 月 31 日
- 5) 上記の情報の使用を選定した理由：膵頭十二指腸切除術後の肝不全について調査し、今後の臨床現場において活用するためです。
- 6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：本研究に係る研究対象者の個人情報、「個人情報保護に関する規程」、「個人情報の取得・利用ならびに第三者提供に関する細則」および「疫学研究に関する倫理指針」を遵守して取り扱います。本研究に係る研究対象者の個人情報は第三者へ提供しません。

7) 研究成果の発表の方法：日本肝胆膵外科学会および東京慈恵会医科大学肝胆膵外科より学会発表および論文発表の予定です。

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

久留米大学病院肝胆膵外科

教授：奥田康司、助教：川原隆一、助教：新井相一郎、助教：室屋大輔

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67

(TEL)0942-31-7567 (FAX)0942-35-8967